

日本バプテスト連盟

憲法改悪を許さない

私たちの共同アクション

わたしたちのひとこと

2013年11月13日 No.1

さいたま市南区南浦和1-2-4 日本バプテスト連盟



日本国憲法を改悪しようとする動きがとても強まっています。

日本バプテスト連盟憲法アクションは、憲法改悪に反対し、私たちの祈りと想いを繋ぎあわせていくために「ひとこと運動」を起こすことにいたしました。この運動に賛同し、運動の呼びかけ人となってくださった方がたの「ひとこと」を紹介します。

皆さんも、ぜひ、この「ひとこと運動」に連なってください。皆さんから寄せられた言葉は、毎月このニュースレター『わたしたちのひとこと』に掲載し、諸教会・伝道所にお届けしてまいります。(※一回30人ずつ・到着順で掲載いたします。)

日本バプテスト連盟 憲法改悪を許さない私たちの共同アクション 代表 藤澤一清(花小金井教会)

呼びかけ人賛同者の方がたからのひと言

(五十音順)



浅見祐三・鈴子
飯能バプテスト教会

私たちが、かつて日本が侵略し、人々の尊厳を蹂躪したアジアの国々で宣教を許されているのは、かの国の人々のキリストにある赦しと、憲法九条の不戦の保証があるからです。「ひとの子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとする。わたしの口から言葉を聞くなら、あなたはわたしに代わって警告せねばならない。(エゼキエル 3:16)」



穴井曜子
相模中央キリスト教会

戦争は無差別大殺戮以外の何ものでもない。日常の幸せを踏みにじり、挙げ句、被害者、加害者双方から人間の尊厳を奪う。今人類は叡智を尽くして武力によらない紛争解決の道

を探るべきだ。日本国憲法は人類の希望、何としても守り抜かなければ！ NO！ と叫び続けよう。勇気が要る。連帯しよう。平和の主よ。先立ち給え。



池田定男・契子
江波キリスト教会

アメリカ軍と自衛隊の一体化を目指す憲法改悪は大反対。改悪となる憲法解釈で変えられるとの主張を許さない。私たちは微力だけれど、無力ではない。全国民的な意見を無視するな。



今村幸文・まさゑ
早良キリスト教会

自民党改憲草案は、世界に日本の平和主義を脅威させた平和憲法を改悪し、天皇の神格

化、戦争のできる国、個人と人権の軽視、公益、公の秩序の異常な重視、社会的儀礼や習俗の固執による国家神道の復活、国家主義等々に至らせる危険を孕んでいる。主告白を貫く教会の取り組みが問われている。



岩切裕子
和白バプテスト教会

1億の日本人は見事に洗脳され、真実を知ることなく勝利を信じさせられ、あの悲惨な敗戦を迎えた時、私は12歳でした。敗戦後10年経って、やっとあの戦争の真実が明らかにされ始めた今、何故改悪してまで戦争ができる国にするのですか？あの戦争体験者の声が、国民を守る筈の政治家には聞こえないのでしょうか？



岩波久一・幸子
小樽バプテスト教会

今日の安倍政権のもとに動いている右傾化、特に集団的自衛権にまつわる考え方において憲法九条の本質が軽視され、無視されてゆくような動きには、憤りを感じております。何としても憲法改悪の道は阻止しなければいけません。この運動に協力致します。この輪が大きくなることを祈ります。



江ヶ崎晴子
上尾キリスト教会

「流れに流されるな」「自分たちの手で憲法を作ろう」「他の国の人たちを助けるために集団自衛権を」もっともらしいかけ声で私たちを憲法改正へと向かわせる。川の流れのようだ！ しっかりと立って流れに流されないように踏みとどまり憲法改悪を叫んで行きたい。



岡村正二
志村バプテスト教会

政局の右旋回の足音が高まり世界平和の要になる日本国憲法は極めて重要な位置にあり

ます。「彼らは平和の道を知らない。彼らの国には神への畏れがない。ロマ3:9~16」を覚え、教会は平和の原点であるキリストの十字架の福音を宣べ伝えてやまない使命に生きる群でありたい。



踊 哲郎
府中キリスト教会

信仰に堅く立って安倍の放つ矢を折ろうではないか。悪魔はすでに安倍に乗り移って憲法改悪を日程に入れた。せめて彼を本物の悪魔にしないためにも。この内閣はあらかじめすでに否定されている。しかし、彼はすでに否定している。安倍内閣はすでに存在しないのである。



金子純雄・洋子
大富キリスト教会

戦争放棄を明記した日本国憲法前文の理念と第九条を私たちは一国平和主義のためなどではなく、聖書が示す人類普遍の原理として守り抜かねばなりません。十字架によって平和を実現された主にどこまでも従う者でありたいと思います。



金子 敬・知子
古賀バプテスト教会

敗戦後68年間、日本が他国に軍隊を派遣することなく、従って他国の人命を軍事力で奪うことから護られたのは、現憲法があったからです。戦争は人殺し、軍隊は人間を人殺しの道具へと改造する国家的マインドコントロール機関です。「汝殺すなかれ」にこれからもこだわってゆきたいと願っています。



北島靖士・峯子
八王子めじろ台バプテスト教会

戦争の頃、田舎にいましたが、それでも食べるものがありませんでした。戦争は食糧の奪い合いです。主の晚餐式において「めしは

共に分かつもの」という言葉が響きます。世界から飢えた子どもたちがいなくなるように！ 日本が再び戦争を美化する国家にならないように！ 戦争への道につながる憲法改悪阻止！



**末永昶・和枝
山梨バプテスト教会**

改憲論者がいかなる勢力・理由づけで押し切ろうとしても、日本の宝である平和憲法の改悪は絶対に許されません。戦争の愚かさ、悲惨さを体験した者として、生かされている限り、声を大にして、特に九条の改憲を阻止し、平和憲法を守り、世界の平和のために祈り続けます。



**滝澤幸子
相模中央キリスト教会**

父はインパール作戦でビルマ、タイにいつていきましたが、無事戦地から帰ってきた時はマラリヤで死人のようでした。父母は4人（9歳7歳2歳0歳）の子どもと抱き合って神に感謝していました。その父も90歳、母も100歳まで元気でしたが子どもや孫に「どんな理由があっても戦争はしてはいけないよ！」又「憲法九条の戦争放棄は絶対守る様に！」といつも言っていました。



**中條儀助・信子
フリー**

戦前・戦時中天皇は現人神である故、天皇の為に命を捧げるよう教えられ、その為多くの人々が死んだ。しかし、敗戦と同時に天皇の人間宣言があり、新しい平和憲法が成立了。その憲法を自民党政権は改悪し、再び天皇中心とした神国日本を建て上げようとしている。断じて許してはならない。



**時田光彦
千葉バプテスト教会**

国民主権と個人の尊厳、武力放棄と恒久平和の樹立を基本理念とする日本国憲法を危険視し、改悪を目指す勢力の動きに注目し、抵抗していきましょう。



**富田敬二・百合子
日本バプテスト東京第一教会**

4歳から19歳の8月15日迄、戦時中で「欲しがりません、勝つまでは」の生活でした。戦後の混乱期は中学校教師として困窮時代の生徒と希望を模索する日々でした。憲法九条は戦後の日本を通して世界にしめされた天父のみ言葉でした。「平和を実現する人々は幸いである」と宣言しましょう。



**中田春子
ふじみ野バプテスト教会**

戦争のむごたらしさを知っても、やむことが無い。人は歴史から学び取れないのか。報復の繰り返しは平和をもたらすことは無い。敗戦した日本は「・・・武力による威嚇または武力の行使・・・永久にこれを放棄する。」と誓った。これを生命がけで守り通すことが眞の勇気であり、眞の誇りだと確信する。



藤田英彦・信子
東八幡キリスト教会

安倍自民党の「壊憲」は許されません。絶対天皇制に基づく明治憲法による侵略、霸権により日本を敗戦、破滅に至らせた戦前回帰を繰り返す愚を拒否します。もう戦争はいやです。「主に服従する私たちは自分自身にとって最も大切なものをさえ断念する（平和宣言）」



福田昌治・令子
富野バプテスト教会

①戦争は絶対にすべきでないと思うので、第九条の改正には断固反対。②思想、信条、言論の自由は極めて重要と思うので、第21条2項の新設に反対。③家族の助け合いは義務でなく、当然のこと。よって第24条の新設に反対。④改正はより慎重であるべき。安易に改正の道を開く第96条の改正には反対。



宮地慶信・淑子
恵キリスト教会

最近の安倍内閣は戦争前夜への道に進みつつある様に感じます。国防軍創設案は徴兵制の復活を、閣僚の神社参拝は天皇中心主義国家の構築を、秘密保護法案は気象情報をも隠し、信仰や表現の自由を制限したかつての暗黒時代を想起させます。改悪阻止の為に一人ひとりが、今こそ声を上げていきましょう。



麦野 賦・節子
伊集院キリスト教会

“平和憲法”と称される現日本国憲法は、全ての国民の基本的人権の保障を基盤としています。“安全・安心・自由”に生きる人権の保障を守る憲法を大切に育成してゆきたいと願っています。



山下誠也・みつ
川越キリスト教会

二つのことを心にしっかりとどめたいと願っています。1、75歳以上の生き残っておられる方は、戦争がどんなに無駄で愚かなことであったかを、家族の死、友の死を思い強く語り継ぎましょう。2、75歳以下の方は、国は巧妙に戦争の準備をしていくということを知っておいてください。最後は「徴兵制」必ず決めます。



吉高国彦
別府国際バプテスト教会

学制改称により、私は国民学校で忠君愛國主義教育を受け「君が代」「日の丸」の旗印の下、軍歌と戦勝絵本で育ち、国軍の戦勝にバンザイの歓呼を叩き込まれました。「戦争をしない」決意を宣言する現憲法は、平和の道を歩む基本です。敵意と殺戮を生み出す憲法改悪をしてはなりません。次の世代のために。

